

教科 科目名	数学	単位数(週あたりの授業時数)		2 単位	
	数学B	履修学年(類型)	2学年	普通科	文型
教科書名(出版社名)			高等学校数学B(数研出版)		

### ●学習到達目標

数列、統計的な推測、数学と社会生活について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

### ●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
2	9	① 数列	① 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項および和を求める。いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用する。漸化式について理解し、簡単な漸化式で表された数列について、一般項を求める。また、漸化式を事象の考察に活用する。数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用する。
	10	① 数列 ② 統計的な推測	② 確率変数および確率分布について理解し、確率変数の平均、分散および標準偏差を用いて確率分布の特徴をとらえる。二項分布について理解し、それを事象の考察に活用する。標本調査の考え方について理解し、標本を用いて母集団の傾向を推測できることを知る。母平均の統計的な推測について理解し、それを事象の考察に活用する。
3	3	③ 数学と社会生活	③ 数量や図形に関する概念などと人間の活動や文化とのかかわりについて理解する。数理的なゲームやパズルなどを通して論理的に考えることのよさを認識し、数学と文化のかかわりについて理解する。

### ●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	数学的に意味づけや解釈しながら数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性をもつことができる。	問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行することができ、さらに統合的・発展的に考察することができる。
B	数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度をもつことができる。	問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行することができる。
C	数学的に表現・処理したりすることができる。	数学的論拠に基づいて判断しようことができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりすることができる。	問題を自立的に解決する過程を遂行することができる。
評価方法	定期テスト 単元別テスト	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	学習活動での取り組み 課題への取り組み
評価の重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.3$	$\gamma=0.3$